



联合国
粮食及
农业组织

FOOD AND
AGRICULTURE
ORGANIZATION
OF THE
UNITED NATIONS

ORGANISATION
DES NATIONS
UNIES POUR
L'ALIMENTATION
ET L'AGRICULTURE

ORGANIZACION
DE LAS NACIONES
UNIDAS PARA
LA AGRICULTURA
Y LA ALIMENTACION

منظمة
الغذية
والزراعة
للأمم
المتحدة

FAO Liaison Office in Japan
5F Yokohama International Organizations Center, Pacifico-Yokohama,
1-1-1, Minato Mirai, Nishi-ku, Yokohama 220-0012, Japan
Tel: (045) 222-1101 Fax: (045) 222-1103 E-Mail Address: fao-loja@fao.org

LOJAPR05/01- No.75

FAO プレスリリース

FAO (国際連合食糧農業機関) 日本事務所
2005 年 1 月 17 日

日本政府、FAO の行うスマトラ沖大地震及び インド洋津波被害復興支援に 500 万ドルを無償支援

昨年 12 月 26 日にスマトラ沖で発生した地震に伴うインド洋沿岸国での津波は、現地の漁村・農村の生産・生活基盤である漁業や農業に大きな被害を及ぼした。

これを受け、日本政府は、本日の閣議でインド洋沿岸 4 カ国(インドネシア、タイ、スリランカ及びモルディブ)での被災漁村及び農村における漁業・農業の緊急復興を図るため、FAO の行う下記の緊急対策に対し 500 万ドルの無償支援をすると決定した。

これは、1 月 6 日に FAO を含む国連機関から発表された「インド洋沿岸国での地震・津波に関する 2005 年国連共同アピール」に应运、日本政府が決定したもので、国連側はもとより支援を受ける諸国から高く評価されている。

対策事業概要 FAO/日本・インド洋沿岸 4 ヶ国スマトラ沖大地震及びインド洋 津波被災漁村・農村緊急復興事業

(1) 対象国・地域 :

津波被害が大規模の 4 カ国(インドネシア、タイ、スリランカ、モルディブ)の被災漁村及び被災農村

(2) 事業内容 :

被災漁村・農村での漁民・農民の農漁業再開のため、

必要な漁船・漁具等の緊急修理・供与、作物種子等の緊急供与

漁港の機能回復、塩害被害農地の土壌改良などの復興事業の緊急実施

(3) 助成総額 :

500 万ドル

(4) 国別の支援内容及び規模 :

別紙の通り

(本プレスリリースは、FAO 日本事務所ホームページにも掲載を予定しています)

お問い合わせ、ご意見等は電話、ファックスで(担当 山本・吉村)

FAO 日本事務所

TEL: 045-222-1101 FAX: 045-222-1103

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1/パシフィコ横浜 横浜国際協力センター5F

www.fao.or.jp www.fao.org

【別紙】(LOJAPR05/01- No.75)

1) インドネシア: 1,367,000ドル

1、被災漁村への支援: 784,000ドル

小規模漁業は、アチェ、北スマトラ、沿岸部及びニアス島沿岸部における主要産業。これら小規模漁民の保有する漁具の8割が損失/破壊されたと見られる。

緊急復興対策

漁具(船、網等)の修理及び緊急供与

漁港機能の回復(軽微な浚渫等の土木作業及び製氷・冷蔵施設の修理など)

2、被災農村への支援: 583,000ドル

アチェなどで被災灌漑農地での作物を含め、作物被害、農具、家畜などの喪失被害地がある。

緊急復興対策

海水による塩害被害農地の緊急土壌改良、作物種子、苗木、農具の緊急供与

2) スリランカ: 2,671,000ドル

1、被災漁村への支援: 2,671,000ドル

スリランカでは貧困漁民が小型漁船を保有し漁業を行っているが、今回の津波によりコロンボ、ネゴンボ、ジャフナ、キリノチチ、ムライチブ、トリコマレ、バチカロア、アンパラ、ハンバントタ、マタラ、ガレ及びカルタラ、パタラン、マナー地区における漁船の多くが損失又は破損し、修理や代替が必要。また12漁港のうち、10漁港が大損壊し、漁港附設の諸施設(製氷機、冷蔵庫等)も破壊された。

緊急復興対策

漁具(船、網等)の修理及び緊急供与

漁港機能の回復(軽微な浚渫等の土木作業及び製氷・冷蔵施設の修理など)

3) モルディブ: 723,000ドル

1、被災漁村への支援: 320,000ドル

多数の漁船・漁具の滅失・破壊、貯蔵加工施設の損壊。

緊急復興対策

漁具(船、網等)の修理及び緊急供与

漁港機能の回復(製氷・冷蔵施設の修理など)

2、被災農村への支援: 403,000ドル

700 余に上る圃場の被害やココナツ、パンの木、マンゴなどの農業が被害を受けた。

緊急復興対策

海水による塩害被害農地の緊急土壌改良、作物種子、苗木、農具の緊急供与

4) タイ: 239,000ドル

1、被災漁村への支援: 162,000ドル

タイ南部(Phangna、Trang、Krabi、Phuket、Satun、Ranong)の沿岸零細漁民の漁船・漁具、貯蔵施設などが多数破損・滅失した。

緊急復興対策

漁具(船、網等)の修理及び緊急供与

漁港機能の回復(小規模加工施設、製氷施設の修理など)

2、被災農村への支援: 77,000ドル

上記のタイ南部の地域の農地や小農が生産・飼養するココナツ、野菜、牛、水牛等の多くが被害を受けた。

緊急復興対策

海水による塩害被害農地の緊急土壌改良、作物種子、苗木、農具の緊急供与

5) その他

今後、実施に当たっては、FAO 日本事務所が現地調査に参画し、実施状況・事業効果につき随時報告する等、日本政府と緊密に連携を取り対処する。

【別紙2】(LOJAPR05/01- No.75)

．関係国の漁村・農村被害の概要

- 1．スマトラ沖大地震による津波は、下図の通り関係国を襲ったが、これによりこれら諸国の漁村・農村での漁業・農業への被害が出ている。特に、漁業被害が大きく、今後の調査により更に深刻な被害実態が明らかになる可能性がある。

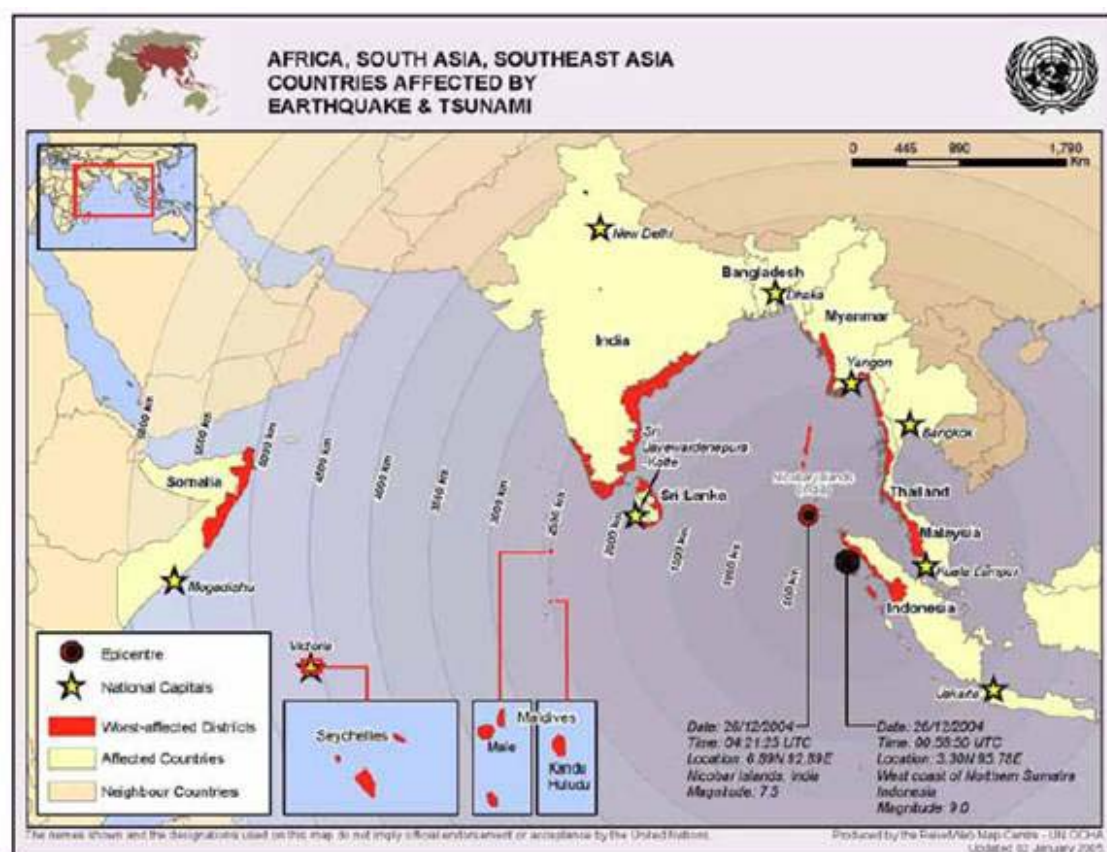


Figure 1: Countries affected by Earthquake & Tsunami

- 2．次ページ以降に、これまでの被害報告の概要をまとめた。
- 3．これら被害に対しては、緊急復興対策に加え、漁業・農業の復興再建のため中長期的な対応も求められている。

．漁業

1．スリランカ

全国 14 の区域のうち 12 区域が被災

- － 漁民 7,574 人死亡、5,686 人不明、全漁家の 2 分の 1 に相当する 9 万 6 57 世帯が家を失う。
- － 漁船被害... 1 万 9,638 隻の漁船が滅失破損
 - 大型船 1,225 隻、モーター付き小型漁船 8,097 隻
 - 伝統的な小型木造船 1 万 316 隻
- － 漁具被害... 多数が滅失破損
- － 漁業インフラ被害
 - 全国 12 漁港中、10 漁港が重大な被害
 - 関連インフラ(製氷施設、冷蔵施設、魚の水揚げ場など)も被害

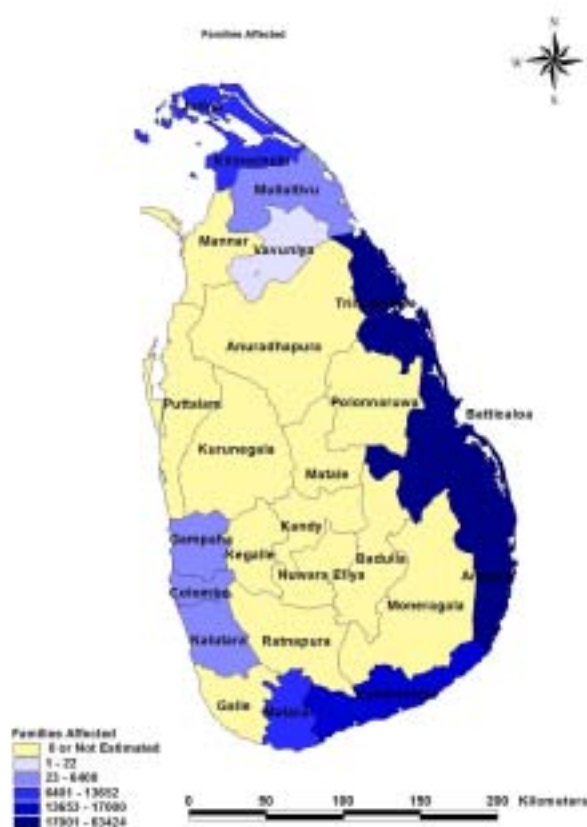


Figure 2: Tsunami-affected areas
(Galle district not surveyed at the time of publication)

2 . インドネシア

北スマトラのアチェ、ニアス島に被害が集中

- － 漁船被害

アチェ：滅失破損 980 隻（うち手操船 490 隻）

ニアス島：滅失破損 800 隻（全て手操船）

- － 以上のほか、漁具、漁業インフラも被害

- － 養殖施設の被害...約 1,000 の養殖漁家（ミルクフィッシュ、シーバス、カニ、エビ等）が壊滅的被害

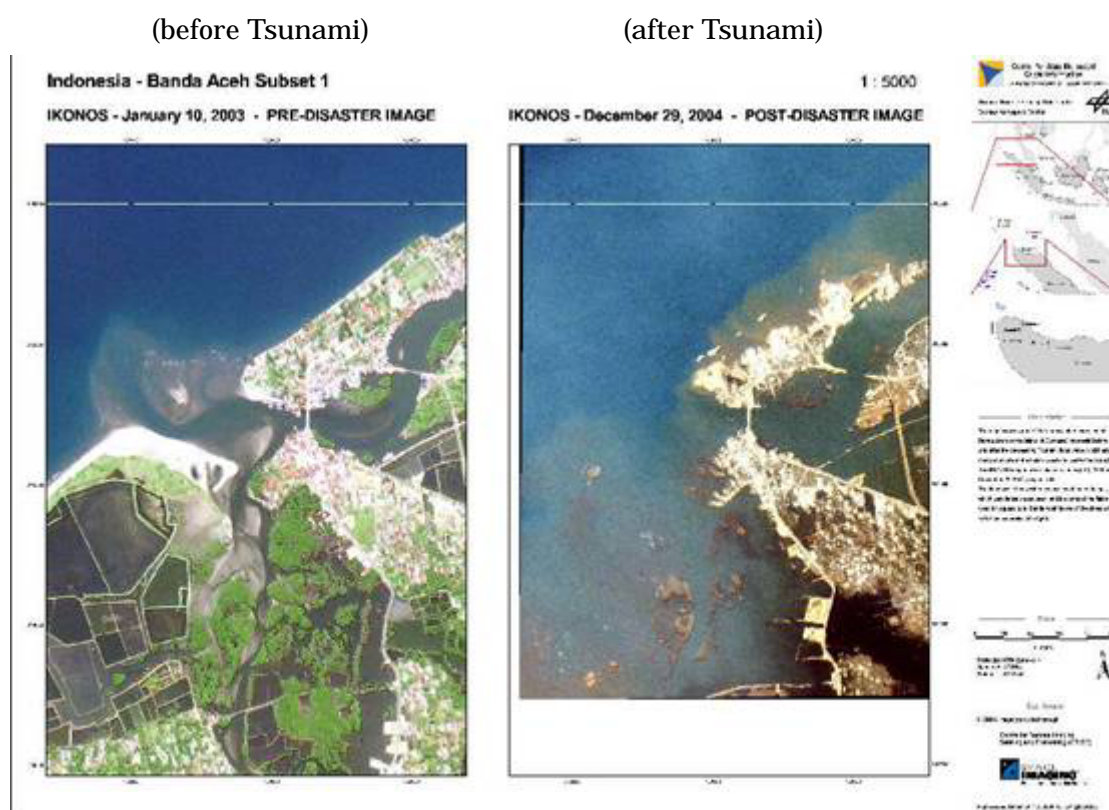


Figure 4: Satellite images of Aceh before and after tsunami showing the aquaculture areas that have been totally destroyed. (Source: UNOSAT)

3 . モルディブ

- － 漁船被害...滅失 25 隻、破損 115 隻

- － 漁具、加工貯蔵施設被害

4. タイ

タイ南部（Ranong, Phang gna, Krabi, Phuket, Trang, Satun）の 3 8 6 の漁村、約 1 2 万人の漁民が被災

- 漁船被害... 4 , 5 0 0 隻が滅失破損（大半が伝統的な小規模木造船）
- 漁具の滅失破損
- 漁業インフラ... 8 漁港と漁港関連インフラ（製氷貯蔵施設など）が被害
- 養殖施設被害... 1 万 5 , 8 0 0 の養殖用ケージ、養殖池、産卵施設が滅失破損



Figure 5: Commonly used type of boats in Satun area

・農業

1. スリランカ

- 東部、南部（ガレ、マタラ、ハンバントタ、アンバラ、パチコロア、トリコマレ、ムラチブ、キリノチチ及びジャフナ）に集中。
- 津波による海水の浸入は沿岸部 5 0 0 メートル程度に及んだ。
- 但し、国全体へのコメ需給に対するインパクトは、今後の天候にも左右される。

1) コメ

- 同地域は、当国の主作付期のコメ生産及び作付面積の 3 分の 1 を占める。津波発生時田植えは完了済み。津波による海水の浸入は沿岸部 5 0 0 メートル程度及び、水田被害（消失）面積は 2 , 1 7 5 ヘクタール。収穫を迎える 3 月時点での主作期のコメの生産見通しは、アンバラ、パチコロア、トリコマレ地区では、昨年末からの豪雨もあって悪化の見通し。
- 今次津波のコメへの被害は局地的。但し、国全体のコメの需給（0 5 / 0 6 年度）については、 昨年のコメ生産が少雨の影響から前年度比 2 0 % 減となっていること、 3 月に収穫を迎える主作期のコメの生産は今後の天候に左右されるところが大きいことから依然要警戒。

2) その他作物

- 被害（消失）面積は、1 , 7 0 8 ヘクタールに留まる。

2 . インドネシア

アチェ、北スマトラ（タパヌリ及びニアス島）に被害集中

- 同地域の 3 分の 1 が貧困層。人口密度も高いうえ、耕作可能地面積も少ないことから、多数の農民が小規模複合営農に従事。
- アチェでは、人口の半数が甚大な被害。多数の農民が、農地、農具、家畜等農業用資産の殆どを失う。更に、農業用溜池、灌漑排水施設等公共施設にも甚大な被害。
- 予備的な調査結果による上記 2 州におけるコメ生産被害状況：灌漑農地 4 万ヘクタール（全水田面積 1 2 0 万ヘクタール）が津波による洪水で壊滅状態。
- 3 月に収穫を迎える主作のコメの生産は津波発生時に既に作付け済みであり、被害にあった。
- なお、上記 2 州のコメの生産シェアは国全体の 1 0 % 程度を占めている。

3 . モルディブ

総人口の 3 分の 1 が居住する首都マレでは、広範に冠水。

- 農業については、経済全体では、シェアは低いものの、農民にとって重要な現金収入源。
- 被害状況：作物作付け地の約 5 0 % が塩害と洪水のためほぼ壊滅。
 - ココナッツ、パンの木及びマンゴが根こそぎ状態。
 - パナナ園は、多大な塩害被害。

4 . タイ

被害は、南東部地域に集中。

- 津波発生時、2 0 0 4 年主作期のコメの収穫中。被害地区を含む南部全体でのコメのシェアは、全体の 4 % 程度。
- 予備的調査によれば、洪水被害のあった農地は 8 0 0 ヘクタール。